

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2008年11月1日

62号

南北米福地開発協会では地球温暖化の厳しい地球環境を緩和するため、植林活動を推進しています。



地球温暖化防止のため、植樹活動を進めましょう！！（第8回青年奉仕隊員イグアス移住地にて）

パンタナール、レダの地へニーム植林5000本キャンペーン

2008年12月までにレダをパンタナール植林モデル地区



10ヘクター植林地植林開始

植林募集中！！

植林を進めているNPOとの協力により、レダでの植林活動が進んでいます。すでに2000本近い植林のための支援がなされています。厳しい環境への植林のため、1本3000円で協力をお願いしています。今年中に5000本まで募集を行うことにしております。会員の皆様、また植林に関心のある方に協力をお願いして本年中に5000本を達成して行ければと希望しています。申込みは南北米福地開発協会事務局へ



パラグアイ、レダ・パンタナールにおける植樹活動
2001～2008年、放置され半砂漠状態になっていた牧場跡地に12ヘクタールの緑地を造成（粘土層）



マンゴー

チバト（鳳凰木）、ジャカランダ（紫雲木）、 ゴールデンシャワー、マンゴー 3～4年で開花結実



レダ植樹園

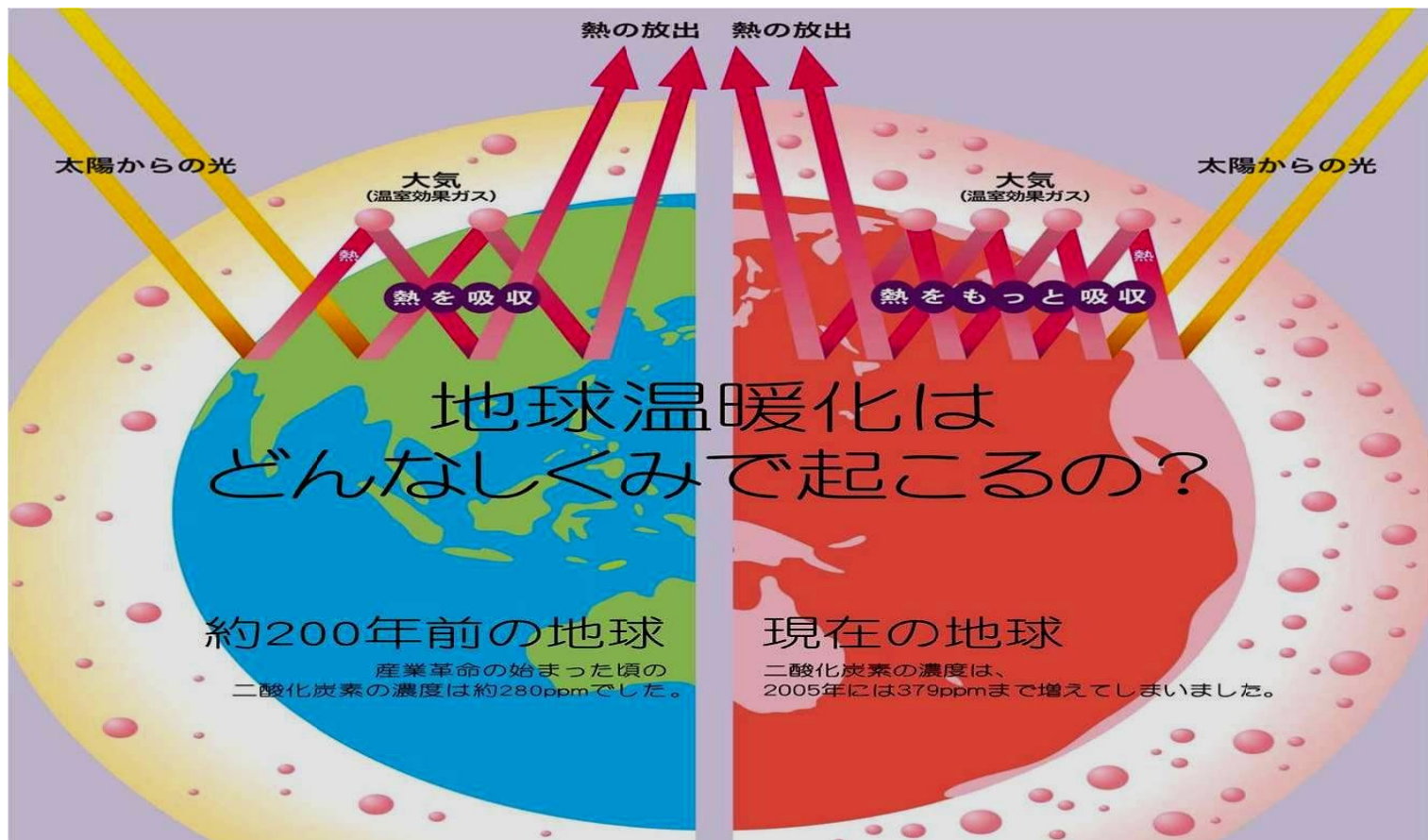


チバト

植樹活動とその影響

植樹による森林の再生 下草環境の変化
微生物、昆虫の繁殖、動物が棲息
ミネラルを含んだ水の宝庫 海に出て、魚類と海藻類の
成長を助ける
結果的に、酸素の供給、樹木の活用
粘り強く植樹活動を続けると、地球が蘇生していく。

地球温暖化のメカニズム



熱帯雨林伐採を伐採 大豆畑に



アマゾン熱帯雨林の減少 1975 2001



石炭や石油を燃やして発生した二酸化炭素などの温室効果ガスが、地球温暖化の原因と考えられている。温室効果ガスの排出量を減らすとともに、森林を保護し、植林して育て、森を再生していくことが大きな課題となっている。

南米レダでの活動と南北米開発協会の目的（2008-9年）

地球に酸素を供給するためのニームの木の植林
地球飢餓問題対策の一環としてのモリンガ植樹
バイオディーゼル製造のためジャトロファの栽培
エコツーリズムの準備（環境意識の高揚）
国際協力青年奉仕隊派遣（青年教育）
日本での環境教育啓蒙活動



ニームの樹（植樹後1年目）

九月八日 ABC新聞

(第八回青年奉仕隊の記事)

大見出し 日本人たちは地球温暖化と闘うためにアルトパラグアイを選んだ。小見出し 大学生が休暇に環境保護のため

のボランティア活動

十人の日本人学生を含むボランティア隊が、アルトパラグアイ地域で地球温暖化対策の一環として植樹活動。インディヘナの人々との交流を深めた。

青年ボランティア隊はこの地域の自然の豊かさとしに驚嘆しつつも、地球温暖化対策にすぐ取り組む必要性を認識した。八月二〇日にボランティア隊は陸路にてプエルトレダに向かい、途中マリアアウシリアドーラ村で子供達への文具類を贈呈し、交流のひとつを持った。

ボランティア隊は南北米福地開発協会が組織したもので今回の活動は八回目を数える。

協会代表の佐野道准氏によると、学生たちは夏休みを利用してのボランティア活動が目的であり、最初の植樹活動はプエルトレダにて、次はインディヘナ村のエスペランサにて行われた。

又ボランティア隊の引率者として日本から来た柴沼邦彦氏によると、地球温暖化対策について日本は極めて関心が高く、人類の将来の為に真剣に対処する必要性を感じている。今回のボランティア活動はそれを目的としている。

彼らはエスペランサ村の中心にある公園内に植樹を行い、プエルトレダでは十ヘクタールの土地に五千本の植樹を行った。昨年のボランティア隊はアルトパラグアイ州の州都、オリンポ市においての植樹活動を行った。ボランティア隊員の磯としひろ君はエスペランサ村での、川の水を直接飲料にしたり、電気がない生活ははじめ大きなショックだった。

しかし4日間の村人との生活で、親切な村人の対応にそんなことが問題でないことを実感したそうである。

また女性隊員の村上かなこさんは東京農大の学生であるが、パラグアイの広大な耕作地に圧倒された。パラグアイが豊かな国であることを実感したという。日本は全てが小さく、パラグアイのように何キロにもわたる広大な土地が存在しないと語った。

ボランティア隊はラ コルメナにある最初の日本人居住地も訪れた。そこで昔苦労した長老たちからの話を聞くことが出来た。さらにイグアスの日本人移住地も訪問し広大な農場も視察した。活動の締めくくりはイグアスの滝観光を楽しみ、先週木曜日に日本への帰路に就いた。

写真1 地球温暖化の戦いとして、エスペランサでの植樹活動(ボランティア隊と子供達)

写真2 ABC新聞社を表彰訪問し、チャコ

での強烈な体験を語り合つ。

写真3 チャコの村々と植樹活動するボラン

ティア隊員。訪問は村人にとっても喜ばれた。

写真4 住民と学生達が一緒に環境問題に取り組む。気候変動と戦う為エスペラ

ンサの通りのひつじに植樹



写真4



写真3



写真2



写真1

レダ植林5000本 キャンペーン実施中！！

南北米福地開発協会ではパラグアイ・レダの地に五千本のニームの植林を本格的にすることになりました。すでに二〇〇〇年の初めから粘土層で、年三か月は雨も降らない乾燥地の植樹には難しいレダの地に植樹を進めて来ました。その経験を元に、レダの環境において、最も適応する樹がニームの樹であることが分かり、牧畜で砂漠化した土地の植林にモデルとし森作りを始めております。すでに二〇〇〇本近くの支援があります。今年度中に五〇〇〇本まで樹を植えるため、皆様の協力を心からお願いいたします。

詳しくは事務局に。

南北米福地開発協会 事務局

〒二二二一〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一二八二二

Fax 八二九一二八二二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp